

平成 30 年度 子規記念博物館における購入資料の概要 (正岡子規関連資料 3 点)

松山市では、平成 30 年 8 月に正岡子規やその門人に関連する資料 3 点を購入し、松山市立子規記念博物館に収蔵しました。今後、これらの資料についてさらに調査・研究を進め、常設展示室「特別展示」コーナーや、平成 31 年度の特別展・特別企画展で一般公開する予定です。

■ 資料の内容と意義

(1) 子規画「雪ノ下」 軸幅 1 点

子規がユキノシタ（ユキノシタ科の常緑多年草）を描いた写生画です。子規が草花を描いた絵としては珍しく、墨で輪郭をとって描いています。制作年は不明ですが、晩年の作品と考えられます。

この作品は子規門の歌人、岡麓の旧蔵品で、従来の文献等には未発表の作品です。軸装の裏に岡麓が「子規居士雪ノ下写図 感涙」と記しています。また、夏目漱石の門人で小説家の松岡讓まつおかゆずるによる箱書も見られます。

子規は植物を描いた写生画を数多くのこしていますが、ユキノシタの画題は他に知られていません。今後、子規の写生画や草花への関心を研究する上で重要な資料になるものと思われます。

(2) 岡麓筆「正岡子規の女子訓」 原稿用紙 1 点

岡麓が執筆した文章「正岡子規の女子訓」の原稿です。この文章は「病牀六尺」に述べられた子規の女子教育・家庭教育についての考えを紹介したもので、雑誌『婦人公論』昭和 18 年 1 月号に掲載され、のち岡麓著『正岡子規』（白玉書房、昭和 38 年）に再録されました。

よりよい看護や一家団欒のあり方を模索していた晩年の子規の女性観・家庭観を知る上で重要な文献の原稿であるとともに、岡麓と子規との関係を知る上でも興味深い資料です。

(3) 岡麓歌「おもふにはあまりにしかば藤のはなたかきにかゝるこずえあふげり」 色紙 1 点

歌人として活躍した岡麓が、フジの花を詠んだ自作の歌を色紙にしたためたものです。

■ 購入した日

平成 30 年 8 月 10 日（金）

■ 購入額

702 万円 ※3 点一括

■ 購入先

愛媛県内の業者

■ 今後の一般公開について

今回の資料は、いずれも子規やその門人に関連するもので、従来の文献に掲載されていないものも含まれています。今後は、さらに調査研究を進めた上で、常設展示室「特別展示」コーナーや、平成 31 年度の特別展・特別企画展において一般公開を行い、その後は常設展や特別展、機関誌等で積極的に公開の機会を設け、永続的な活用を図る予定です。